

八代生活環境事務組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実施状況について  
（令和3年度）

1. 評価結果の総括

令和3年度（2021年度）における八代生活環境事務組合の事務・事業に係る「温室効果ガス総排出量」は、集計の結果、1,151 t-CO<sub>2</sub>となり、目標年度である令和12年度（2030年度）の目標値（1,131 t-CO<sub>2</sub>）をやや上回りましたが、基準年度である平成29年度（2017年度）の排出量1,528 t-CO<sub>2</sub>と比較して377 t-CO<sub>2</sub>の削減となりました。削減の主な要因は、昨年度と同様、ごみ処理事業において平成30年7月からごみ処理区域が縮小し、処理量が減少したことから稼働時間の短縮に伴う電力使用量の減少によるものです。（△315 t-CO<sub>2</sub> 削減率62.7%）また、その他のエネルギー種別においても減少傾向にあります。

今後も、これまでの取組を着実に推進するとともに、温室効果ガス排出量の更なる削減に努めて参ります。

2. 温室効果ガス排出状況

表-1 エネルギー種別「温室効果ガス総排出量」（2021年度）

（単位：t-CO<sub>2</sub>）

年度	2017年度	2021年度		2030年度		
	【基準年度】	【実績値】	基準年度との比較		【目標排出量】	【目標削減率】
温室効果ガス			増減	削減率		
温室効果ガス総排出量	1,528.0	1,151.0	-377.0	24.7%	1,131.0	26.0%
電気の使用	1,318.8	879.7	-439.1	33.3%	976.0	26.0%
重油の使用	97.5	81.2	-16.3	16.7%	72.0	26.0%
灯油の使用	94.0	175.0	81.0	-86.2%	70.0	26.0%
ガソリンの使用	12.8	12.4	-0.4	2.8%	9.4	26.0%
軽油の使用	4.0	2.3	-1.7	42.2%	3.0	26.0%
液化石油ガスの使用	0.9	0.4	-0.5	60.6%	0.6	26.0%

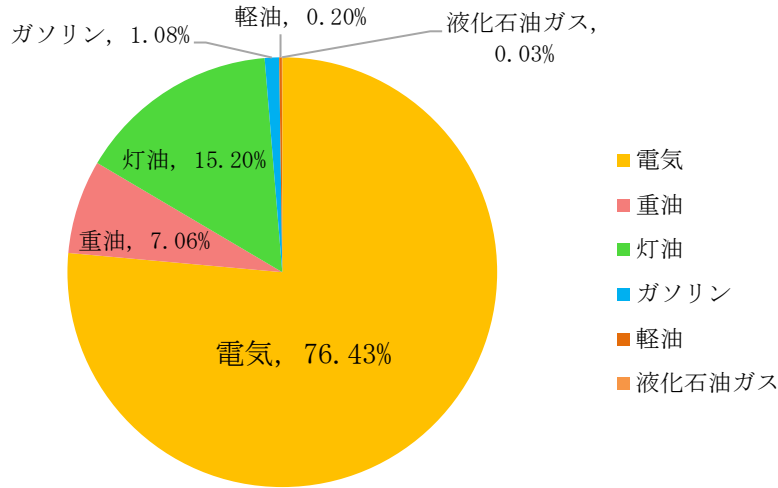
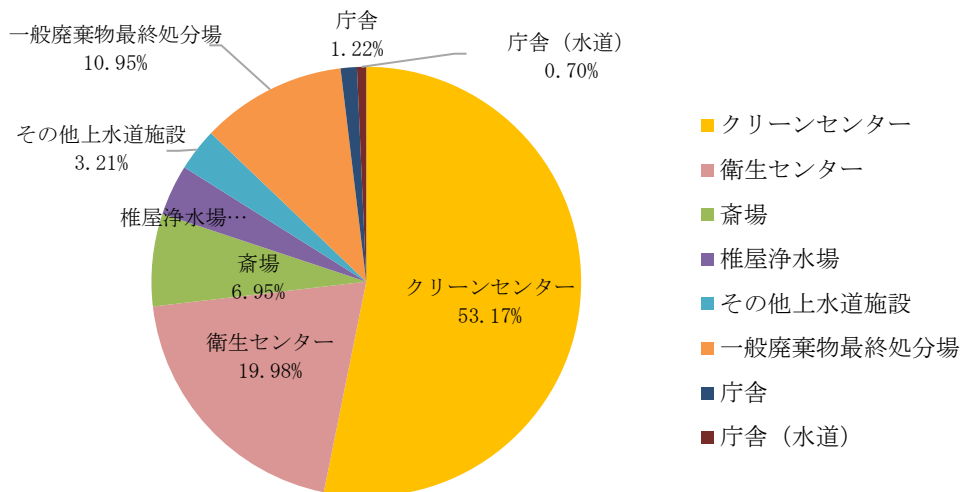


図-1 エネルギー種別「温室効果ガス総排出量」の割合（2021年度）

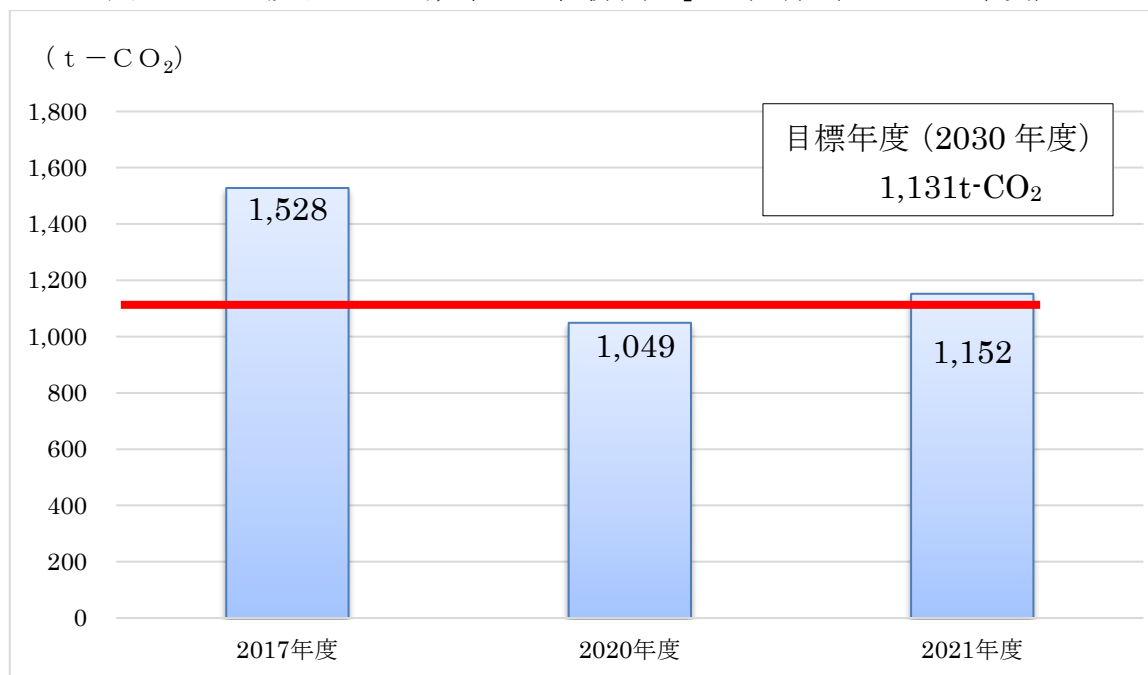
表-2 施設別「温室効果ガス総排出量」（2021年度）

(単位: t-CO<sub>2</sub>)

事業 施設名	年度	2021年度			2030年度	
	【基準年度】	【実績値】	基準年度との比較		【目標排出量】	【目標削減率】
			増減	削減率		
	1,528.0	1,151.0	-377.0	24.7%	1,131.0	26.0%
クリーンセンター	946.0	612.0	-334.0	35.3%	700.0	26.0%
衛生センター	308.0	230.0	-78.0	25.3%	228.0	26.0%
斎場	96.0	80.0	-16.0	16.7%	71.0	26.0%
椎屋浄水場	59.0	44.0	-15.0	25.4%	44.0	26.0%
その他上水道施設	53.0	37.0	-16.0	30.2%	39.0	26.0%
一般廃棄物最終処分場	39.0	126.0	87.0	-223.1%	29.0	26.0%
庁舎	20.0	14.0	-6.0	30.0%	15.0	26.0%
庁舎(水道)	7.0	8.0	1.0	-14.3%	5.0	26.0%



図－2 施設別「温室効果ガス総排出量」の割合（2021年度）



図－3 温室効果ガス削減の進捗状況（2021年度）

### 3. 今後の取組

八代生活環境事務組合の温室効果ガス総排出量のうち、76.43%（令和3年度実績）が電力の使用に伴うものです。昨年同様、新型コロナウイルス感染予防対策による室内換気頻度の増加に伴い、電力量の使用量増加が想定されますが、適正な温度管理や休憩時間の照明消灯等の使用電力削減への取組みを継続して行うことにより、職員一人ひとりの日常的な省エネ行動への意識啓発を進め、温室効果ガス総排出量の削減を図ります。